令和5年度家畜ふん尿処理利用研究会開催要領

「家畜排せつ物の肥料としての活用に向けて」

高度飼養技術研究領域長　山崎信

１．開催趣旨

わが国では食料生産に不可欠な資材である化学肥料のほとんどを海外に依存してきた。近年の国際情勢の変化に伴う肥料価格高騰は生産現場に大きな影響を及ぼし、国内における肥料資源の循環利用システムの確立が求められている。

これまで、家畜排せつ物の肥料利用については、様々な取り組みが行われてきたが、本研究会では最近の取り組み状況について行政、業界および研究の関係者に情報提供をいただき、これらについての理解を深める。

２．開催日時　令和６年３月６日（水）13:30～16:00（予定）

３．開催場所　WEB会議方式（Teams）

４．主催　農研機構　畜産研究部門

５．内容　（進行　農研機構畜産研究部門　高度飼養技術研究領域　山崎信)

・挨拶　畜産研究部門所長　三森　眞琴

・「食料・農業・農村基本法の中間とりまとめについて（仮）」

農林水産省農林水産技術会議事務局　荒川愛作

・「スマ農ペレットプロジェクトのご紹介（仮）」

農研機構九州沖縄農業研究センター　田中章浩

・「朝日アグリアにおける堆肥活用の取組み」

朝日アグリア株式会社　開発部　小林　新

・「堆肥の活用による炭素貯留の取り組み（仮）」

新潟県農林水産部農産園芸課　佐藤 太

・質疑応答・総合討論

６．参集範囲：農林水産省、独立行政法人、都道府県試験研究機関、普及指導機関、大学、民間団体、民間企業、農研機構本部、等

７．連絡先（問い合わせ先）

　〒305-0901茨城県つくば市池の台２

　Tel. 029-838-8673 / Fax.029-838-8606

　e-mail：yamazaki@naro.affrc.go.jp